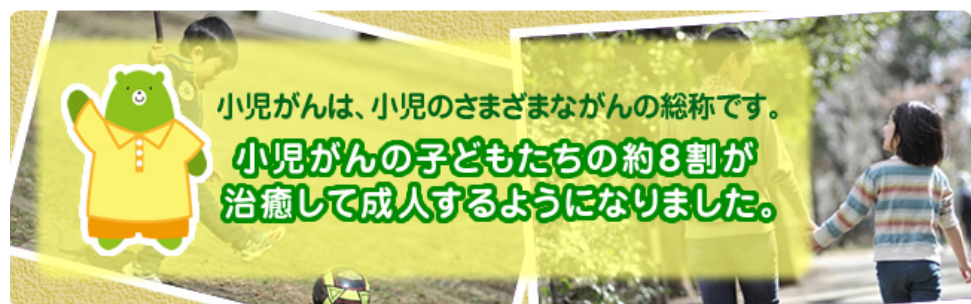


小児がん中央機関からの報告①

情報提供・院内がん登録

国立がん研究センター がん対策情報センター
センター長 若尾文彦

小児がん情報サービス更新



病院を探す

小児がん拠点病院
がん診療連携拠点病院
がん相談支援センターなどを探せます

がん情報サービス ganjoho.jp



がん登録・統計

がんの状況や、がん登録、がん対策について知ることができます。



Facebook
がん情報サービス

もくじ

小児がんの解説

それぞれのがんを個別に解説



検査・診断・治療

検査、診断、臨床試験などについて



生活・療養

心と体のケア、助成制度などの情報



冊子・資料

小児がんの冊子と講演会の記録



おすすめページ

＊ 就学に関するQ&A



入院時の学校への対応や退院後の復学などを、Q&A形式で解説しています。

[詳しくみる⇒](#)

＊ 医療費の支援



小児がんの治療には、負担を軽減するさまざまな助成制度が用意されています。

[詳しくみる⇒](#)

＊ 心のケア



子どもと家族のみなさんの心のケアと、周囲の方々に知ってもらいたい情報をまとめました。

[詳しくみる⇒](#)

＊ 長期フォローアップ



小児がんでは、治療が終わった後も病気や治療の影響を長期間見守る必要があります。

[詳しくみる⇒](#)

新着情報

2018年09月27日：「[小児がん拠点病院を探す](#)」が更新されました。

2018年09月20日：「[がん情報サービスについて](#)」を掲載し、「[このサイトについて](#)」「[『がん情報サービス』編集方針](#)」「[リンクについて](#)」「[お問い合わせ](#)」を更新しました。

2018年06月21日：「[小児がんの解説 横紋筋肉腫](#)」「[小児がんの冊子 横紋筋肉腫](#)」を更新しました。

[お知らせ一覧へ⇒](#)

病院を探す

全国のがん診療を行っている医療機関や情報を掲載しています。
がんの種類や都道府県などを選択し、病院の検索や情報をご覧いただけます。

がん診療連携拠点病院 用語集、地域がん診療病院 用語集、特定領域がん診療連携拠点病院 用語集、
小児がん拠点病院 用語集

がん診療連携拠点病院
地域がん診療病院 を探す



がん診療連携拠点病院などの
リンパ浮腫外来を探す



小児がん拠点病院を探す



がん相談支援センターを探す



小児がん拠点病院の
相談支援センターを探す



希少がん情報公開専門病院

希少がん情報公開専門病院を探す



緩和ケア病棟 用語集

緩和ケア病棟のある病院を探す



小児がん拠点病院を探す 相談支援センターの一覧をみる



小児がん拠点病院に設置されている相談支援センターの情報を掲載しています。

掲載している情報は、2017年10月に厚生労働省に提出された「新規指定・指定更新推薦書」または「現況報告書」をもとに作成しております。
なお、相談支援センターの情報については2017年10月の情報をもとに更新しています。その他、順次更新予定です。
各病院のご協力を得て、随時、情報を更新しておりますが、現状と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆一覧の相談支援センター名をクリックすると、詳しい情報を掲載しているページへ移動します。

小児がん拠点病院 緩和ケア病棟のある病院
都道府県がん診療連携拠点病院 兼 小児がん拠点病院
地域がん診療連携拠点病院 兼 小児がん拠点病院

相談支援センター名	問い合わせ先	対応曜日・時間	相談支援センターの写真
北海道大学病院 がん相談支援センター（小児がん相談）	札幌市北区北14条西5丁目 直通 011-706-7040	月～金曜日： 9時00分～16時00分	
東北大学病院 小児がん相談支援窓口	仙台市青葉区星陵町1-1 直通 022-717-7708	月～金曜日： 10時00分～16時00分	
	〒新都市1番地2 00(内線)1492	月～金曜日： 8時30分～17時15分	
	0-1 81(内線)2148	月～金曜日： 8時30分～17時00分	

希少がん診療の実績から探す

がんの種類と地域を選択し、診療実績やセカンドオピニオンの症例件数を一覧でご覧いただけます。
現在選択可能ながんの種類は以下とありますが、今後他のがん種についても検索できるようにしていきます。
※注意
専門施設は、自主応募参加ですので、リストに含まれていないところが、専門ではないということではありません。

がんの種類を選ぶ（1種類のみ選択可）

胃と軟部組織（筋肉や脂肪など）のがん	目のがん
☐ 四肢軟部肉腫（2015年） 項目説明	☐ 眼内腫瘍（2013-2015年） 項目説明 ☐ 角結膜腫瘍（2013-2015年） 項目説明 ☐ 眼窩腫瘍（2013-2015年） 項目説明 ☐ 眼瞼腫瘍（2013-2015年） 項目説明
施設要件	施設要件

地域を選ぶ（複数選択可）

☐ 北海道	☐ 東北	☐ 関東甲信越	☐ 東海北陸
☐ 近畿	☐ 中国・四国	☐ 九州・沖縄	



希少がん情報公開専門病院
 ツイート シェア 共有


小児がん拠点病院 【初回指定日：2013/02/08】

基本情報	各種情報・窓口	相談支援センター	各種がんの情報	緩和ケア	指定要件に関する情報1	指定要件に関する情報2																																																																													
病院の連絡先や診療案内などの基本情報を掲載しています。 更新日：2018/09/27 掲載日：2014/08/31																																																																																			
 すべて展開する  すべて折りたたむ  すべて展開して印刷																																																																																			
 基本情報 クリックで詳細を開く <table border="1"> <tr> <td>病院名</td> <td colspan="6">国立研究開発法人 国立成育医療研究センター</td> </tr> <tr> <td>よみがな</td> <td colspan="6">こくりつけんきゅうかい はつほうじん こくりつせいいくりょうけんきゅうせんたー</td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td colspan="6">〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1</td> </tr> <tr> <td>よみがな</td> <td colspan="6">せたがやくおくら2-10-1</td> </tr> <tr> <td>電話（代表）</td> <td colspan="6">03-3416-0181</td> </tr> <tr> <td>FAX（代表）</td> <td colspan="6">03-3416-2222</td> </tr> <tr> <td>電子メール（代表）</td> <td colspan="6">-</td> </tr> <tr> <td>ホームページ</td> <td colspan="6">http://www.ncchd.go.jp/index.html</td> </tr> <tr> <td>小児がんに関するホームページ</td> <td colspan="6">小児がんセンター</td> </tr> <tr> <td>小児がん診療施設の情報公開（国立成育医療研究センター）</td> <td colspan="6">国立研究開発法人 国立成育医療研究センター（PDF）</td> </tr> <tr> <td>小児がん拠点病院としてのメッセージ</td> <td colspan="6"> 小児がんセンターは、2013年9月に新しく組織され、わが国における小児がん診療のモデルとなるべく、全ての小児がん患者に対して世界標準かつ優しく温かい医療を提供するとともに、臨床研究の推進、新規治療の開発、長期フォローアップ体制の確立などを通じて、わが国の小児がん診療をリードすることを目標としています。診療組織には、血液腫瘍科、固形腫瘍科、脳神経腫瘍科、移植・細胞治療科、血液内科、腫瘍外科があり、初発例から再発・難治例まで、他診療科と協力をし、最善の治療を行うよう努力しております。 </td> </tr> </table>							病院名	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター						よみがな	こくりつけんきゅうかい はつほうじん こくりつせいいくりょうけんきゅうせんたー						住所	〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1						よみがな	せたがやくおくら2-10-1						電話（代表）	03-3416-0181						FAX（代表）	03-3416-2222						電子メール（代表）	-						ホームページ	http://www.ncchd.go.jp/index.html						小児がんに関するホームページ	小児がんセンター						小児がん診療施設の情報公開（国立成育医療研究センター）	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター（PDF）						小児がん拠点病院としてのメッセージ	小児がんセンターは、2013年9月に新しく組織され、わが国における小児がん診療のモデルとなるべく、全ての小児がん患者に対して世界標準かつ優しく温かい医療を提供するとともに、臨床研究の推進、新規治療の開発、長期フォローアップ体制の確立などを通じて、わが国の小児がん診療をリードすることを目標としています。診療組織には、血液腫瘍科、固形腫瘍科、脳神経腫瘍科、移植・細胞治療科、血液内科、腫瘍外科があり、初発例から再発・難治例まで、他診療科と協力をし、最善の治療を行うよう努力しております。					
病院名	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター																																																																																		
よみがな	こくりつけんきゅうかい はつほうじん こくりつせいいくりょうけんきゅうせんたー																																																																																		
住所	〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1																																																																																		
よみがな	せたがやくおくら2-10-1																																																																																		
電話（代表）	03-3416-0181																																																																																		
FAX（代表）	03-3416-2222																																																																																		
電子メール（代表）	-																																																																																		
ホームページ	http://www.ncchd.go.jp/index.html																																																																																		
小児がんに関するホームページ	小児がんセンター																																																																																		
小児がん診療施設の情報公開（国立成育医療研究センター）	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター（PDF）																																																																																		
小児がん拠点病院としてのメッセージ	小児がんセンターは、2013年9月に新しく組織され、わが国における小児がん診療のモデルとなるべく、全ての小児がん患者に対して世界標準かつ優しく温かい医療を提供するとともに、臨床研究の推進、新規治療の開発、長期フォローアップ体制の確立などを通じて、わが国の小児がん診療をリードすることを目標としています。診療組織には、血液腫瘍科、固形腫瘍科、脳神経腫瘍科、移植・細胞治療科、血液内科、腫瘍外科があり、初発例から再発・難治例まで、他診療科と協力をし、最善の治療を行うよう努力しております。																																																																																		
 交通案内 クリックで詳細を開く  アクセス クリックで詳細を開く <table border="1"> <tr> <td>最寄り駅</td> <td colspan="6">小田急線 祖師ヶ谷大蔵駅から徒歩 15分</td> </tr> <tr> <td>最寄りバス停</td> <td colspan="6">バス 成育医療研究センター前/バス停から 徒歩 3分</td> </tr> <tr> <td>最寄りインターチェンジ</td> <td colspan="6">用賀から 8分</td> </tr> </table>							最寄り駅	小田急線 祖師ヶ谷大蔵駅から徒歩 15分						最寄りバス停	バス 成育医療研究センター前/バス停から 徒歩 3分						最寄りインターチェンジ	用賀から 8分																																																													
最寄り駅	小田急線 祖師ヶ谷大蔵駅から徒歩 15分																																																																																		
最寄りバス停	バス 成育医療研究センター前/バス停から 徒歩 3分																																																																																		
最寄りインターチェンジ	用賀から 8分																																																																																		



診療に関する情報			クリックで詳細を開く						
 診療実績（2016年1月1日～2016年12月31日） クリックで詳細を開く									
 がん種の種類別年間診断例数（2016年1月1日～2016年12月31日） クリックで詳細を開く									
 診療を行っているがんの種類 クリックで詳細を開く									
 がんの種類をクリックすると詳しい情報がご覧いただけます。 <table border="1"> <tr> <th colspan="2">【記号について】</th> </tr> <tr> <td>○ 実施</td> <td>○ セカンドオピニオン 対応可</td> </tr> <tr> <td>× 未実施</td> <td>× 対応不可</td> </tr> </table>			【記号について】		○ 実施	○ セカンドオピニオン 対応可	× 未実施	× 対応不可	
【記号について】									
○ 実施	○ セカンドオピニオン 対応可								
× 未実施	× 対応不可								
	診療	セカンドオピニオン							
脳腫瘍	○	○							
目のがん	○	○							
骨と軟部組織のがん	○	○							
他の固形腫瘍（神経芽腫など）	○	○							
血液・リンパのがん	○	×							

専門施設として詳細情報を公開している希少がん		登録されています	クリックで詳細を開く												
 診療の状況 クリックで詳細を開く <table border="1"> <tr> <td>専門外来の名称</td> <td colspan="3">小児がんセンター 血液・腫瘍科外来</td> </tr> <tr> <td>先進医療</td> <td>実施しています</td> <td colspan="2">詳細を確認する（各種情報・窓口）</td> </tr> <tr> <td>臨床試験・治験</td> <td>実施しています</td> <td colspan="2">詳細を確認する（各種情報・窓口）</td> </tr> </table>				専門外来の名称	小児がんセンター 血液・腫瘍科外来			先進医療	実施しています	詳細を確認する （各種情報・窓口）		臨床試験・治験	実施しています	詳細を確認する （各種情報・窓口）	
専門外来の名称	小児がんセンター 血液・腫瘍科外来														
先進医療	実施しています	詳細を確認する （各種情報・窓口）													
臨床試験・治験	実施しています	詳細を確認する （各種情報・窓口）													
 診療の体制 クリックで詳細を開く  長期フォローアップの体制 整備されています クリックで詳細を開く															

緩和ケア		クリックで詳細を開く						
 設置状況 クリックで詳細を開く <table border="1"> <tr> <td>緩和ケア外来</td> <td>設置されています</td> <td>詳細を確認する（緩和ケア）</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア病棟</td> <td>設置されていません</td> <td></td> </tr> </table>			緩和ケア外来	設置されています	詳細を確認する （緩和ケア）	緩和ケア病棟	設置されていません	
緩和ケア外来	設置されています	詳細を確認する （緩和ケア）						
緩和ケア病棟	設置されていません							

患者さんやご家族用の設備		クリックで詳細を開く		
 設置状況 クリックで詳細を開く <table border="1"> <tr> <td>小児がん患者の親へのケアを実施している</td> <td>実施しています</td> </tr> </table>			小児がん患者の親へのケアを実施している	実施しています
小児がん患者の親へのケアを実施している	実施しています			

診療案内		クリックで詳細を開く
外来診療受付時間	月～金 8時 30分 ～ 17時 00分	
外来診療時間	月～金 8時 30分 ～ 17時 15分	
休診日	土日、祝祭日、年末年始 ※小児救急外来は、24時間年中無休	
初診時の予約	すべての診療科が必要	
初診時の紹介状	不要	
診療科	内科、心療内科、精神科、神経科、呼吸器科、消化器科、循環器科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、矯正歯科、小児歯科、麻酔科、病理診断科	
病床数	490 床	

相談支援センター		クリックで詳細を開く
詳細を確認する （相談支援センター）		
名称	小児がんセンター相談支援センター	
電話番号	代表	03-3416-0181
	内線	2148



がん診療連携拠点病院

がん相談支援センター

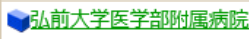
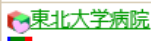
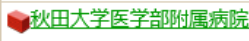
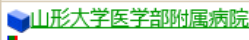
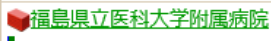
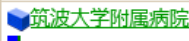
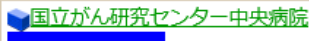
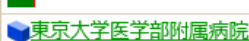
小児がん拠点病

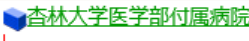
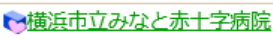
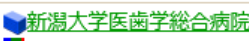
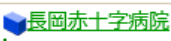
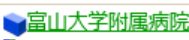
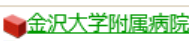
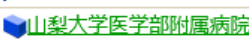
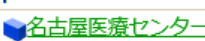
TOP > 希少がん診療の実績から探す > 検索結果

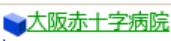
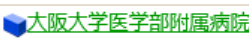
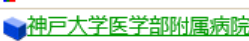
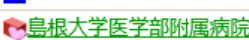
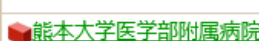
希少がん情報公開専門施設 診

検索条件

疾患名: **眼内腫瘍（2013-2015年）** [項目説明](#) 地域: 全国 該当件数:

病院名	網膜芽細胞腫 項目説明		
	診断	治療	院内がん登録件数
 北海道大学病院	○	○	4-6件
 旭川厚生病院	○		0件
 弘前大学医学部附属病院	○	○	0件
 東北大学病院	○	○	1-3件
 秋田大学医学部附属病院	○		0件
 山形大学医学部附属病院	○		1-3件
 福島県立医科大学附属病院	○	○	1-3件
 筑波大学附属病院	○	○	4-6件
 埼玉医科大学総合医療センター	○	○	0件
 がん研有明病院			1-3件
 国立がん研究センター中央病院	○	○	76件
 東京慈恵会医科大学附属病院	○	○	10件
 慶應義塾大学病院	○	○	0件
 東京医科大学病院	○	○	0件
 東京大学医学部附属病院			1-3件

 順天堂大学医学部附属 順天堂医院	○	○	1-3件
 国立成育医療研究センター	○	○	7-9件
 帝京大学医学部附属病院	○	○	4-6件
 杏林大学医学部付属病院			0件
 東京都立小児総合医療センター	○	○	0件
 東京慈恵会医科大学附属 第三病院	○	○	0件
 横浜市立みなと赤十字病院	○		0件
 新潟大学医歯学総合病院	○	○	4-6件
 長岡赤十字病院	○		0件
 富山大学附属病院	○	○	1-3件
 金沢大学附属病院	○	○	1-3件
 福井赤十字病院	○		1-3件
 山梨大学医学部附属病院	○	○	0件
 総合病院 聖隷浜松病院			1-3件
 名古屋医療センター	○	○	19件

 中京病院	○		
 岡山医療センター	○	○	1-3件
 藤田医科大学病院 (旧称 藤田保健衛生大学病院)			
 愛知医科大学病院	○		
 大阪赤十字病院	○		
 大阪大学医学部附属病院	○		
 関西医科大学附属病院	○		
 神戸大学医学部附属病院	○		
 兵庫県立こども病院	○		
 島根大学医学部附属病院	○		
 岡山大学病院	○		
 広島大学病院	○	○	7-9件
 松山赤十字病院	○	○	1-3件
 九州大学病院	○	○	17件
 福岡大学病院	○	○	4-6件
 久留米大学病院	○		1-3件
 佐世保市総合医療センター	○	○	0件
 熊本大学医学部附属病院	○	○	0件
 大分大学医学部附属病院	○	○	1-3件
 鹿児島大学病院	○		0件

■ 眼内腫瘍

更新日：2018/09/27

掲載日：2014/08/31

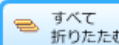
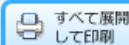


希少がんの種類別に治療やセカンドオピニオンなどの対応状況を掲載しています。

[◀ 診療を行っているがんの種類へ](#)

➡ 他のがん診療連携拠点病院の情報は「[希少がん情報公開専門病院を探す](#)」をご覧ください。

[項目説明](#) をクリックすると項目についての説明文が別ウインドウ/タブで開きます。

すべて
展開するすべて
折りたたむすべて展開
して印刷

▼ 診断と治療

クリックで詳細を閉じる

▼ 診療実績

クリックで詳細を閉じる

疾患名	診断の可否	治療の可否	院内がん登録件数	治療件数
網膜芽細胞腫	○	○	11件	10件
ぶどう膜悪性黒色腫			0件	0件
眼内リンパ腫			0件	0件

▼ 治療内容

クリックで詳細を閉じる

疾患名	手術	放射線	全身化学療法	その他
網膜芽細胞腫	○	○	○	-
ぶどう膜悪性黒色腫				-
眼内リンパ腫				-

▼ 診療連携している病院名と連携内容

クリックで詳細を閉じる

疾患名	医療機関名と内容
網膜芽細胞腫	国立がん研究センター中央病院 局所治療に関して
ぶどう膜悪性黒色腫	-
眼内リンパ腫	-

▼ 備考

クリックで詳細を閉じる

網膜芽細胞腫：過去50例以上の診療実績

▼ 診療担当医

クリックで詳細を閉じる

眼腫瘍を専門とする担当医	氏名	野村耕治
	診療科名	眼科
連携する眼科医	氏名	-
	所属施設名	-



小児の脳腫瘍:3月更新予定

●脳腫瘍 (のうしゅよう)

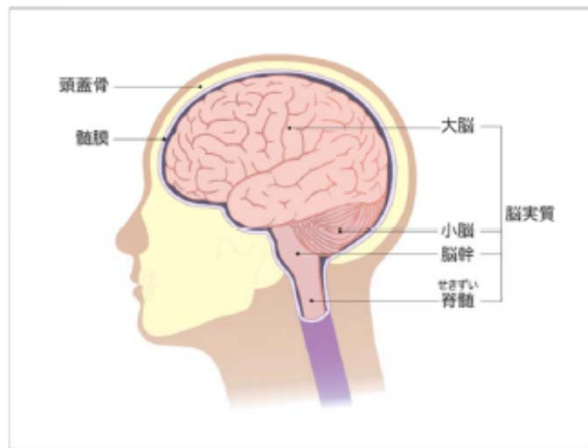
基礎知識 検査 治療 療養

診療の流れやご家族に心がけていただきたいことなど、本格的に治療を始める前に知っておいていただきたい情報については「[治療にあたって](#)」をご参照ください。

● 脳について

脳は、脳を保護する骨である「頭蓋骨(ずがいこつ)」に囲まれた臓器です。頭蓋骨の中で、髄膜(ずいまく)に包まれた液体である「脊髄液(せきずいえき:髄液)」の中に浮かんでいます(図1)。

図1 頭蓋骨内の構造



脳は、大まかに、大脳や小脳、脳幹(のうかん)、脊髄という部位に分けることができ、これらは脳実質と呼ばれます。脳実質の外側には、髄膜や脳神経などの組織があります。

脳や脊髄には、神経細胞(ニューロン)と神経膠細胞(しんけいこうさいぼう:グリア細胞)があります。神経細胞からは神経線維が束になって延びており、目・耳・鼻などの感覚器や筋肉とつながって、細胞どうしの情報伝達に重要な役割を果たしています。一方、神経膠細胞の主な役割は、神経細胞や神経線維を固定したり守ったりし、栄養の供給や情報伝達に必要な物質の伝達をすることです。

- 特に、「学校への復帰」「長期フォローアップ」などは小児脳腫瘍特有の記載を大幅に加筆。
- 主な小児の脳腫瘍を掲載(グレードを含む)
- グレードの診断:世界保健機関(WHO)2007→2016年分類へ更新

医療関係者向け情報

お知らせ

- 2018年10月25日 [「第8回小児がん拠点病院連絡協議会概要」](#) [「第8回小児がん拠点病院連絡協議会資料」](#) を掲載しました。
- 2018年10月16日 [「第4回小児がん中央機関アドバイザリーボード概要」](#) [「第4回小児がん中央機関アドバイザリーボード資料」](#) を掲載しました。
- 2018年09月20日 [「がん情報サービスについて」](#) を掲載し、「[このサイトについて](#)」「[『がん情報サービス』編集方針](#)」「[リンクについて](#)」「[お問い合わせ](#)」を更新しました。
- 2018年08月10日 [「第7回小児がん拠点病院連絡協議会概要」](#) [「第7回小児がん拠点病院連絡協議会資料」](#) を掲載しました。
- 2018年08月07日 [「第6回小児がん拠点病院連絡協議会概要」](#) [「第6回小児がん拠点病院連絡協議会資料」](#) を掲載しました。

医療関係者向け情報

▶ 研修・セミナー

▶ 就学支援

▶ 小児がん拠点病院連絡協議会

▶ 小児がん中央機関アドバイザリーボード

第4回小児がん中央機関アドバイザリーボード概要

第4回小児がん中央機関アドバイザリーボード資料

第3回小児がん中央機関アドバイザリーボード概要

第3回小児がん中央機関アドバイザリーボード資料

第2回小児がん中央機関アドバイザリーボード概要

HOME > 医療関係者向け情報 > [小児がん中央機関アドバイザリーボード](#) > 第4回小児がん中央機関アドバイザリーボード概要

第4回小児がん中央機関アドバイザリーボード概要

更新・確認日：2018年10月16日 [履歴]

平成30年3月1日、第4回小児がん中央機関アドバイザリーボードが国立成育医療研究センターにて開催され、小児がん中央機関アドバイザリーボード委員、厚生労働省健康局がん・疾病対策課、小児がん中央機関が参加した（[出席者名簿 \[PDF\]](#)）。開会にあたり、国立成育医療研究センターの五十嵐隆理事長、続いて、厚生労働省健康局がん・疾病対策課の河田純課長補佐より挨拶があった。

1. 小児がん拠点病院制定後の小児がん患者の集約化

松本公一センター長（国立成育医療研究センター小児がんセンター）から、「集約化／均てん化」についての報告がなされた（[資料1 \[PDF\]](#)）。

意見は以下のとおりである。

- ブロック内の診療施設の診療情報を集約し、拠点病院がカバーして診療の質を担保・向上させるような取り組みが望まれる。
- ブロック間の診療の共有を進めることで、診療施設数はこれ以上大幅に減らす必要はないと考えられる。
- ブロックごとに、診療情報を小児がん拠点病院に集約してほしいという要望があった。
- 集約化を評価するためには、診療数の推移だけでなく、どのような対象がどこで診療されているかを把握することが必要であろう。疾患のリスク別に集約化を検討する必要がある。成育医療研究センターで相対的に増えている患者は、移植が必要な対象など再発難治の症例が中心である。

小児がん情報サービス 医療関係者向け情報

第8回小児がん拠点病院連絡協議会概要

更新・確認日：2018年10月25日 [履歴]

平成30年6月22日、第8回小児がん拠点病院連絡協議会がTKP 品川カンファレンスセンター パンケットホールにて開催され、全国15の小児がん拠点病院および国立成育医療研究センターと国立がん研究センターの2つの小児がん中央機関代表者が参加した。（[出席者名簿 \[PDF\]](#)）

開会にあたり、国立がん研究センターの中釜育理事、そして国立成育医療研究センターの五十嵐隆理事長より挨拶があった。また、厚生労働省健康局がん・疾病対策課の栗本量介課長補佐より「小児がん拠点病院の指定要件の見直しについて」の説明があった。（[資料 \[PDF\]](#)）



1. 小児がん中央機関からの報告

（1）情報提供と院内がん登録について

若尾文彦センター長（国立がん研究センターがん対策情報センター）から、「がん情報サービスに掲載されている小児がんに関する検索数が増えている」など、情報提供と院内がん登録について報告された。（[資料1-1 \[PDF\]](#)）

（2）小児がん拠点病院制定後の小児がん患者の集約化について

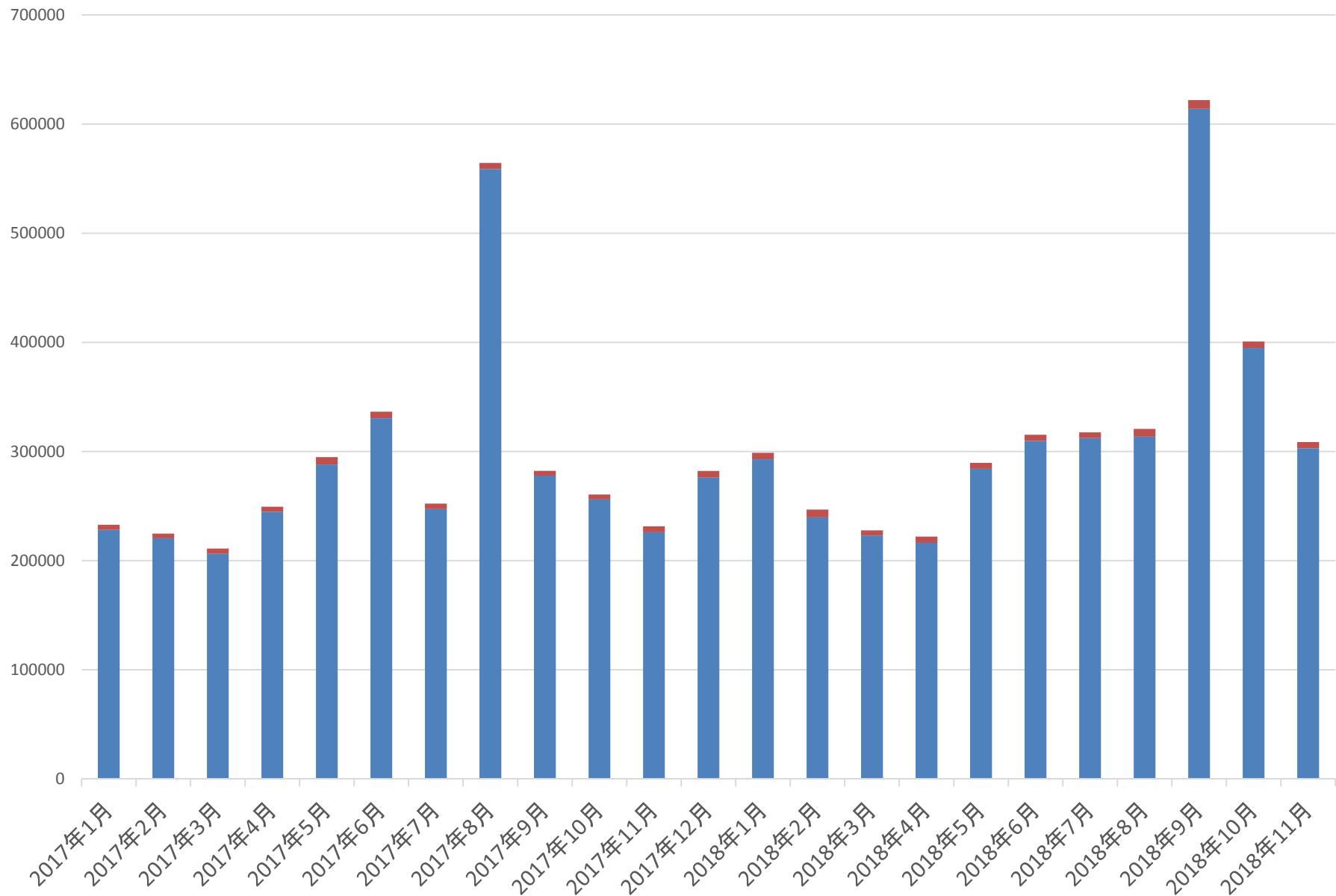
松本公一センター長（国立成育医療研究センター小児がんセンター）から、「各診療施設からいただいた診療情報を成育のHPIに掲載している」「地域的な診療状況の違いがある」など、小児がん拠点病院制定後の小児がん患者の集約化の変化について報告された。（[資料1-2 \[PDF\]](#)）（[別紙1 \[PDF\]](#)）（[別紙2 \[PDF\]](#)）

2. 相談支援部会からの報告

鈴木彩医療社会事業専門員（国立成育医療研究センター）から、相談員専門研修・継続研修など活動報告やAYA世代の相談支援に関するグループワーク開催について、また、相談支援体制の検討をするWGを発足させるなど専門研修・継続研修の計画について報告された。（[資料2 \[PDF\]](#)）

小児がん情報サービスアクセス状況

■ 小児がん情報サービス ■ 小児がん拠点を探す





もくじ

それぞれの
がんの解説
診断から療養まで



診断・治療
検査や治療、
臨床試験について



生活・療養
食事や治療中のケア、
支援制度など



予防・検診
がんの原因や
予防について



資料室
冊子や資料、講演会の
記録など



がんの相談
情報を知りたい、
相談したい



おすすめページ

もしも、がんと
言われたら



ご家族、
まわりの方へ



がん情報サービス
サポートセンター
0570-02-3410



がんの
臨床試験を探す



地域のがん情報



音訳・点訳資料



お知らせ

RSSについて

お知らせ一覧へ

ピックアップ

- 患者さんとご家族の方へ:「免疫療法 まず、知っておきたいこと」「免疫療法 もっと詳しく知りたい方へ」
- たばこの及ぼす健康被害について:「たばことがん まず、知っておきたいこと」「たばことがん もっと詳しく知りたい方へ」

新着情報

2017年10月16日 「がんの発生原因」と「がん予防」を「がんの発生原因と予防」にまとめました。これに伴い「がん発生原因の研究方法」「食生活とがん」「がん予防の」

医療関係者向けサイトへ



がん登録・統計

がんの状況や、がん登録、がん対策
について知ることができます。

病院を探す

がん診療連携拠点病院
小児がん拠点病院
緩和ケア病棟などを探せます

療養生活に役立つ

患者必携

→ 患者さんの手記



がんと共に動く
まづ一歩前へ。

小児がん情報サービス



届けるを贈る
届けるを返える
がん情報ギフト

ご寄付のお願い

国立がん研究センター

がん対策情報センター

がん情報サービスに関する
ご意見募集

Facebook
がん情報サービス

国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報サービス

https://ganjoho.jp

がん

検索



10

国立がん研究センター

小児がん情報サービス

ganjoho.jp



診断・治療

がんとは何かから始まり、がんの検査や治療、さらに臨床試験について説明しています。また、健康食品など代替療法についての説明もあります。

- [■がんの基礎知識](#)
[■がんの診断](#)
[■がんの治療方法](#)
[■治療を受けるときに注意したいこと](#)
[■くすりの正しい使い方](#)
[■リハビリテーション](#)
[■臨床試験について](#)
[■がん情報サービス/フェリスリスト](#)
[■クニカカルパス](#)

がんの基礎知識

- ・ [知っておきたいがんの基礎知識](#)
- ・ [細胞がん化する仕組み](#)

がんの診断

- ・腫瘍マーカー
- ・ポジトロンCT(PET)検査Q&A
- ・ヤカンドオピニオン 紹介状G&A

がんの治療方法

がんの三大治療は「手術(外科治療)」「薬物療法(抗がん剤治療)」「放射線治療」です。詳しくは患者必携サイトの「[がんのことで知っておくこと](#)」**0000**をご覧ください。

こちらでは、その他の治療についてもご紹介します。

- ・藥物療法(化學療法)
- ・放射線治療
- ・造血幹細胞移植
- ・免疫療法
- ・代替療法(健康食品やサプリメント)

治療を受けるとき注意したいこと

- ・手術療法を受ける方へ
- ・化学療法を受ける方へ
- ・放射線治療を受ける方へ
- ・創傷とスキンケア
- ・妊よう性

くすりの使い方と注意点

- ・がんの治療に使われる主な薬
- ・薬のみ方・使い方
- ・薬と飲食物の関係について
- ・副作用について
- ・くすりQ&A

痛みのケアについては「痛みを我慢しない」**③③③**をご覧ください。

参考資料: 日本緩和医療学会「患者さんと家族のためのがんの痛み治療ガイド」

診斷・治療

■ 更新情報

・2018年07月11日
「[放射線治療の種類](#)
新しました。

・2018年06月14日

「妊よう性 はじめに
男性患者とての関係
「妊よう性 女性患者
者の方へ」を掲載し



妊よう性 はじめに

～がんの治療と生殖機能への影響について～

更新・確認日:2018年05月14日 [履歴]

●妊よう性とは「妊娠するための力」のことをいいます

妊よう性は、女性にも男性にも関わることです。妊娠するためには卵子と精子が必要となり、卵巣、子宮、精巣などが重要な役割を果たしています。がんの治療では、それらの妊娠に関わる臓器にがんができた場合だけでなく、一見妊娠と関係のないような臓器にがんができた場合でも、生殖機能に影響して、しまいには妊娠するための力が弱まったり、失われたりすることがあります。



●将来子どもをもつことについて、がんの治療前に考えてみましょう

がんの治療の進歩によって、多くの若い患者さんもがんを克服できるようになってきています。そして近年では、将来自分の子どもをもつ可能性を残すために、卵子や精子、受精卵を凍結保存する「妊よう性温存」という選択肢も加わってきました。つまり、がんの治療を受けることが大前提ですので、必ずしも希望通りにならない場合もあります。将来子どもをもつことを望むのか、治療前に考えてみることも大切です。

●妊よう性のことについて担当医に聞いてみましょう

将来子どもをもつことについて考えるためには、担当医に気持ちを伝え、「がんの治療によって妊育性（よ）にどのような影響があるのか」や「がんの治療後の見通し」を確認する必要があります。その上で、妊育性温存を検討する場合は、生殖医療を専門とする医師（産婦人科あるいは泌尿器科）の診察を受ける必要があります。

診斷-治療

- | |
|-----------------------------|
| がんの基礎知識 |
| がんの診断 |
| がんの治療方法 |
| 治療を受けるとき注意したいこと |
| ■ <u>手術療法を受ける方へ</u> |
| ■ <u>化学療法を受ける方へ</u> |
| ■ <u>放射線治療を受ける方へ</u> |
| ■ <u>創傷とスキンケア</u> |
| ■ <u>妊よう性</u> |
| ■ <u>妊よう性 はじめに</u> |
| ■ <u>妊よう性 男性患者とその関係者の方へ</u> |
| ■ <u>妊よう性 女性患者とその関係者の方へ</u> |

- くすりの使い方と注意点
- リハビリテーション
- 臨床試験について
- がん情報サービスレファレンス
リスト
- クリニカルパス(乳がん、手術リ
ハビリテーション、血液・リンパ)

HOME > 診断・治療 > 治療を受けるとき注意したいこと > 妊よう性 妊よう性 男性患者とその関係者の方へ

妊よう性 男性患者とその関係者の方へ

～がんの治療と生殖機能への影響について～

更新・確認日：2018年06月14日【 履歴 】

1. がんの治療による妊よう性への影響 2. がんの治療と妊よう性温存の選択について 3. どこへ問い合わせをすればよいのか 4. 参考文献

がんの治療が生殖機能に影響し、妊よう性(妊娠するための力)が失われることがあります。こちらのページでは「1. がんの治療による妊よう性への影響」の項目で、治療ごとに妊よう性への影響について解説しています。また「2. がんの治療と妊よう性温存の選択について」の項目で、妊よう性が失われる可能性が高い場合、どのような選択があるのか、妊よう性温存の方法を含め紹介しています。妊よう性温存を検討する場合には「3. どこへ問い合わせをすればよいのか」の項目を参考にお問い合わせください。



1. がんの治療による妊よう性への影響

生殖機能とは、性欲や精子の形成、勃起、射精などの機能を含めた、生殖に必要な機能のことをいいます。がんの治療が生殖機能に影響することによって男性不妊になる場合には、一時的な場合と永久的な場合があります。また、病状やがんの種類、どのような治療を行うかなどにより異なるため、担当医に十分な説明を受ける必要があります。

治療ごとの妊よう性への影響については、以下の1)手術による影響、2)放射線治療による影響、3)薬物療法による影響の項目で説明しています。

1) 手術による影響

手術の範囲が生殖機能に関わる器官に及ぶことによって、妊よう性に影響があります。

表1 男性の手術による妊よう性への影響

両側の精巣を摘出した場合	精子を形成することができなくなります。
片側の精巣を摘出した場合	残った精巣が機能するため、妊よう性は保たれます。
膀胱や前立腺の摘出を行った	射精ができなくなります。

診断・治療

がんの基礎知識

がんの診断

がんの治療方法

治療を受けるとき注意したいこと

手術療法を受ける方へ

化学療法を受ける方へ

放射線治療を受ける方へ

妊よう性

妊よう性 はじめに

妊よう性 男性患者とその関係者の方へ

妊よう性 女性患者とその関係者の方へ

くすりの使い方と注意点

リハビリテーション

臨床試験について

がん情報サービスレファレンスリスト

クリニカルパス(乳がん手術リハビリテーション、血液・リンパ)

HOME > 診断・治療 > 治療を受けるとき注意したいこと > 妊よう性 妊よう性 女性患者とその関係者の方へ

妊よう性 女性患者とその関係者の方へ

～がんの治療と生殖機能への影響について～

更新・確認日：2018年06月14日【 履歴 】

1. がんの治療による妊よう性への影響 2. がんの治療と妊よう性温存の選択について 3. どこへ問い合わせをすればよいのか 4. 参考文献

がんの治療が生殖機能に影響し、妊よう性(妊娠するための力)が失われることがあります。こちらのページでは「1. がんの治療による妊よう性への影響」の項目で、治療ごとに妊よう性への影響について解説しています。また「2. がんの治療と妊よう性温存の選択について」の項目で、妊よう性が失われる可能性が高い場合、どのような選択があるのか、妊よう性温存の方法を含め紹介しています。妊よう性温存を検討する場合には「3. どこへ問い合わせをすればよいのか」の項目を参考にお問い合わせください。



1. がんの治療による妊よう性への影響

生殖機能とは、性欲や排卵に関わる機能、子宮や卵巣などの生殖器官の機能を含めた、妊娠・出産に必要な機能のことをいいます。がんの治療が生殖機能に影響することによって不妊になる場合には、一時的な場合と永久的な場合があります。また、病状やがんの種類、どのような治療を行うかなどにより異なるため、担当医に十分な説明を受ける必要があります。

治療ごとの妊よう性への影響については、以下の1)手術による影響、2)放射線治療による影響、3)薬物療法による影響の項目で説明しています。

1) 手術による影響

手術の範囲が生殖機能に関わる器官に及ぶことによって、妊よう性に影響があります。

表1 女性の手術による妊よう性への影響

両側の卵巣もしくは子宮を摘出した場合	妊娠できなくなります。
片側の卵巣を摘出した場合	残った卵巣が機能するため、妊よう性は保たれます。

多地点合同メディカルカンファレンス[2018-第19回]

更新・確認日: 2018年12月12日 [履歴]

日時 : 2018年11月22日(木) 17:30~19:00

テーマ : がん治療医と看護師が取り組むべき『がん告知後に治療を開始する患者のための妊孕性温存』

(国立がん研究センター中央病院発信)

司会 国立がん研究センターがん対策情報センター 加藤 雅志

がん医療における生殖医療との連携が重要な課題となっている。がんと診断された患者は、がんの治療方針を決めていく中で、様々な不安を抱えながら将来子供を持つことについても考え行動しなければならぬ。がん告知を受けた直後の患者は、がん治療開始までの限られた時間で妊孕性温存について決定しなければならないこともあり、患者が納得した生活を送ることができるよう医療者による適切な支援が求められている。今回、特に「がん告知後、がん治療開始前」の時期に焦点を当て、その時期に関わるがん治療医と看護師が取り組むべきがん・生殖医療、地域のネットワーク構築の必要性について討論を行う。

1. 小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療の実践ーがん治療医の役割は？

[\(ビデオを見る\)](#)

[\(iPhone、iPadで見る\)](#)

聖マリアンナ医科大学産婦人科学 鈴木 直

がん・生殖医療とは、小児・AYA世代がん患者に対する生殖機能温存を目指した医療がその定義となる。本邦では、本領域に関する臨床的疑問に答える形式の世界初のガイドラインが2017年に日本癌治療学会によって刊行された。がん・生殖医療においては、がんと宣告された患者が不安と恐怖の中で、そして時間的猶予が無い状況下で不確実な将来の選択肢を決める必要がある。あくまでもがん治療を優先とする中で、がん治療医は患者が自己決定できる環境を(将来子どもを授かる選択肢だけでなく、その選択肢を選択しないという決定に関しても)、多職種医療従事者と密に連携して構築する必要がある。

2. がん治療開始前の妊孕性温存治療に対する意思決定支援における看護師の役割

[\(ビデオを見る\)](#)

[\(iPhone、iPadで見る\)](#)

上智大学総合人間科学部 渡邊 知映

がん治療開始前の妊孕性温存に関する意思決定支援について、全国調査の結果を基に、看護

多地点テレビカンファレンス

多地点合同メディカルカンファレンス

AYA CAYA

思春期：8~9歳頃から17~18歳頃



AYA (Adolescent and Young Adult) 世代：15-39歳(NCI、NCCN)

思春期・若年代

CAYA世代：小児・AYA (0-39歳)

→妊孕性(生殖機能)温存においては原則としての上限の年齢

がん種別がん化学療法開始前の生殖機能への影響に対する説明状況 (N=198)



都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会

第11回 情報提供・相談支援部会

更新・確認日: 2018年12月10日 [開会]

2018年12月4日、第11回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会が、国立がん研究センター新研究棟1階 大会議室で開催された。

各都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の相談支援部門の責任者および実務者、各都道府県の情報提供・相談支援部会の責任者等が参加した。また、オブザーバーとして厚生労働省、患者支援団体から2名、小児がん拠点病院中核機関からもご参加いただいた。

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会議長である国立がん研究センター 中堅管理事務長の挨拶後、情報提供・相談支援部会長である国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部長 高山智子が議長となり、議事が進行した。



議事は、「がん診療連携拠点病院の新整備指針におけるがん相談支援センターの役割」と「がん対策情報センターおよび各県・ブロックからのお知らせ」の2部構成で進行した。

先ず第1部として、厚生労働省健康局がん対策・疾病対策課 小野由布子様より、がん診療連携拠点病院の新整備指針の改正の要点とその背景の説明がなされた。



さらに、国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部会事務局 小郷祐子より、新整備指針で新たに触れられた役割への対応状況（アンケート結果）の報告がなされた。



その後、岐阜大学大学院医学系研究科産科婦人科学分野 古井辰郎様より、がん妊孕性医療の動向とネットワークについてご講義をいただいた。



続いて、都道府県内の連携体制の好事例として、滋賀県と福井県の例をご紹介いただいた。滋賀県からは、滋賀県立総合病院 山内智香子様と岡村



都道府県がん診療連携拠点
病院連絡協議会

都道府県がん診療連携拠点病
院連絡協議会について

開催記録

活動報告

臨床研究部会

がん登録部会

情報提供・相談支援部会

■ 第11回 情報提供・相談支援
部会

■ 第10回 情報提供・相談支援
部会

■ 第9回 情報提供・相談支援
部会

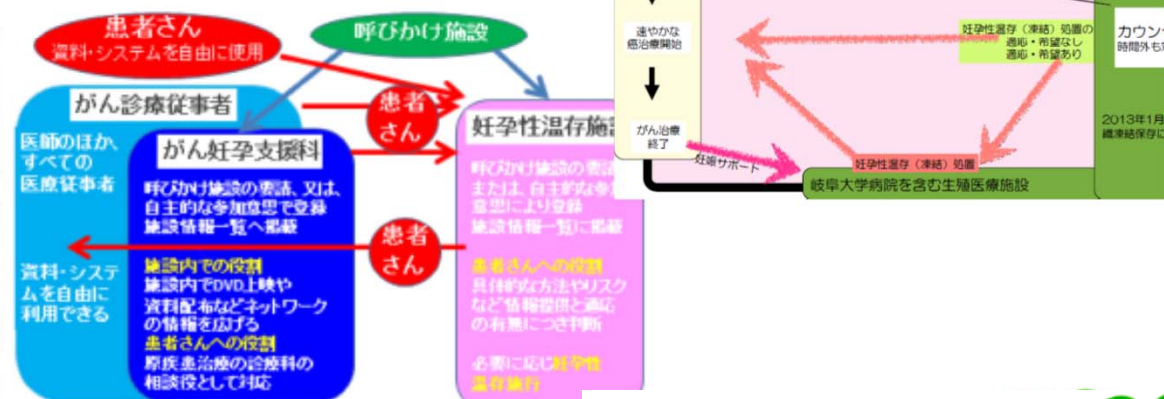
■ 第8回 情報提供・相談支援
部会

■ 第7回 情報提供・相談支援
部会

滋賀県



表1. 滋賀がん・生殖医療ネットワーク



OF-Net Shiga 登録妊孕性温存施設の
生殖細胞保存に関連する診療内容一覧

国立がん研究センター
小児がん情報サービス ganjoho.jp

地域におけるがん・生殖医療ネットワークの全国展開
～2018年10月の現状～

沖縄県 2016年10月、鹿児島県 準備中、宮崎県 準備中、熊本県 2016年4月、
長崎県 2014年1月、大分 2013年、福岡県 2014年、愛媛県 2018年4月
広島県 2017年3月、岡山県 2013年12月、山口県 2018年10月

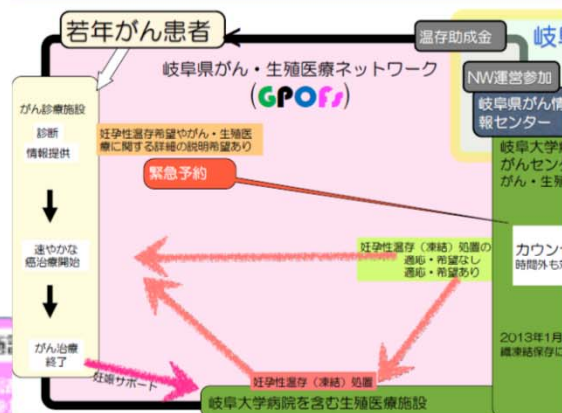
兵庫県 2016年1月、大阪府 2017年5月、
京都府 2017年4月、滋賀県 2015年7月、三重県 2017年10月
岐阜県 2013年2月、静岡県 2015年、長野県 2018年10月

埼玉県 2016年1月、千葉県 準備中、茨城県 準備中、栃木県 2016年8月、群馬県 2017年10月
宮城県 2016年

- 2013年
- 2014年
- 2015年
- 2016年
- 2017年
- 2018年
- 準備中



岐阜県におけるがん・生殖医療連携（岐阜モデル）



国立がん研究センター
がん情報サービス **ganjoho.jp** **がん登録・統計** [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#)

がん登録 **統計** **がん対策**

HOME > 統計

統計

がん登録やがんの動向に関する調査によって集められたデータを基に、集計・解析されたがんの死亡・罹患・生存率などの数値データやグラフを提供しています。わが国のがんの状況を科学的根拠に基づいたデータで確認することができます。

がん統計

最新のがん統計やがんに関連する統計情報をわかりやすく解説しています。

がんに関する統計データのダウンロード

グラフデータベースの元となるデータ等をExcel形式のファイルで掲載しています。

がん検診に関する統計データのダウンロード

がん検診に関する統計の元データをExcel形式のファイルで掲載しています。

報告書・冊子

地域がん登録の全国集計、がん診療連携拠点病院等院内がん登録、全国がん検診実施状況データブック、全国「がんの統計」（がん研究振興財団）などを掲載しています。

Q&A・用語集・その他

統計情報の見方、統計に関する専門用語を解説した用語集、コホート生存率表の情報を掲載しています。

国立がん研究センター
がん情報サービス **ganjoho.jp** **一般の方向けサイト** [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#)

がん登録・統計

がん情報サービスは
国立がん研究センター

がんの状況やがん登録、がん対策について知るることができます。

がん登録・統計

統計 **がん対策**

2016年1月
全国がん登録
始まります。

統計 **がん対策**

がん登録やがんの動向に関する調査によって集められたデータを基に、集計・解析されたがんの死亡・罹患・生存率などの数値データやグラフを提供しています。わが国のがんの状況を科学的根拠に基づいたデータで確認することができます。

わが国の「がん対策」に関するさまざまな情報や取り組み、「がん対策」に役立つ情報を発信している団体のサイトなどをリンク集として紹介しています。

最新がん統計 → 集計表のダウンロード → グラフデータベース

がんの死亡・罹患・生存率などの直...
がんの死亡・罹患・生存率、がん検診受診率、喫煙率など、さまざまながんの統計に関する集計データファイルをダウンロードすることができます。

がんの死亡・罹患・生存率など、がんに関するさまざまなデータについて、対象データ、部位、集計方法などを指定して、さまざまなグラフを表示することができます。

お知らせ →

市民向け説明会」を掲載しました。
病院等院内がん登録2013年全国集計」を掲載しました。
のサイトを公開しました。

がん情報サービス ganjoho.jp **全国がん登録PRキャンペーンサイト** **サンキューボタン**

このページの先頭へ

院内がん登録 全国集計

(0年集計) 施設別登録数検索

▶ 都道府県単位集計へ

■ 操作方法是[こちら](#)をご参照ください。

※必須項目には「*」マークを付けています

1. がん・臨床病期*

がん:

選択してください
胃
大腸
肝細胞 (規約分類)
肝内胆管 (規約分類)
肺
肺 (小細胞癌)
肺 (非小細胞癌)
乳房
食道
脾臓
前立腺
子宮頸部
子宮内膜
膀胱
甲状腺 (乳頭・濾胞癌)
甲状腺 (未分化癌)
甲状腺 (髄様癌)

臨床病期: 全病期 ▼

入力情報クリア

2. 施設*

※都道府県を選び、施設リストから検索したい対象施設を選んでください。

都道府県

施設リスト

青梅市

NTT

日本赤

日本大学医学部附属板橋病院

武蔵野赤十字病院

公益がん研究会有明病院

帝京大学医学部附属病院

東京医科大学八王子医療センター

杏林大学医学部付属病院

昭和大学病院

施設名絞り込み: 施設名

施設リスト検索

追加 >

全施設追加 >>

削除 <

全施設削除 <<

検索対象施設*

国立がん研究センター中央病院
東京都立駒込病院
東京大学医学部附属病院
日本医科大学付属病院
聖路加国際病院
東京女子医科大学病院
慶應義塾大学病院
東京医科大学病院
東京慈恵会医科大学附属病院
虎の門病院

3. 診断年*

2016 ▼ ~ 2016 ▼ 年 ※2016年診断のみ検索可能

4. 集計表示対象

☒ 年齢階級 ☒ 性別

結果表示

※臨床病期は、UICC TNM分類に基づいた病期です。

主治医の先生が使われている病期(取り扱い規約)とは異なる場合があります。

肝細胞癌、肝内胆管癌は、取り扱い規約分類による臨床病期です。

院内がん登録 全国集計 結果検索システム（0年集計） 施設別登録数検索

▶ 都道府県単位集計へ

■ 操作方法是[こちら](#)をご参照ください。

胃

施設種別	全データ提出施設	診断年	2016 ～ 2016	がん	胃
臨床病期	全病期	集計表示対象	年齢階級,性別	集計単位	施設別

集計結果 ▼CSV出力

登録件数 1 - 11 / 11 ※ ■ : 集計年度に一部欠けがある施設 ! : 複数の施設種別を持つ施設

施設	施設種別	都道府県	総数 (病期不明を含む)	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	年齢					性別	
								0～39歳	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	男性	女性
国立がん研究センター中央病院	拠点病院	東京	735	562 (76.5%)	37 (5.0%)	47 (6.4%)	86 (11.7%)	11 (1.5%)	197 (26.8%)	298 (40.5%)	200 (27.2%)	29 (3.9%)	520 (70.7%)	215 (29.3%)
東京都立駒込病院	拠点病院	東京	378	250 (66.1%)	33 (8.7%)	22 (5.8%)	67 (17.7%)	4～6	73 (19.3%)	136 (36.0%)	138 (36.5%)	27 (7.1%)	257 (68.0%)	121 (32.0%)
公益がん研究会有明病院	拠点病院	東京	981	703 (71.7%)	80 (8.2%)	59 (6.0%)	108 (11.0%)	24 (2.4%)	336 (34.3%)	372 (37.9%)	226 (23.0%)	23 (2.3%)	672 (68.5%)	309 (31.5%)
東京大学医学部附属病院	拠点病院	東京	297	218 (73.4%)	31 (10.4%)	4～6	31 (10.4%)	1～3	83 (27.9%)	116 (39.1%)	78 (26.3%)	18 (6.1%)	215 (72.4%)	82 (27.6%)
日本医科大学付属病院	拠点病院	東京	195	114 (58.5%)	27 (13.8%)	24 (12.3%)	24 (12.3%)	0	42 (21.5%)	72 (36.9%)	64 (32.8%)	17 (8.7%)	155 (79.5%)	40 (20.5%)
聖路加国際病院	拠点病院	東京	133	100 (75.2%)	11 (8.3%)	1～3	7～9	1～3	27 (20.3%)	44 (33.1%)	49 (36.8%)	11 (8.3%)	92 (69.2%)	41 (30.8%)
順天堂大学医学部附属順天堂医院	拠点病院	東京	336	253 (75.3%)	29 (8.6%)	28 (8.3%)	23 (6.8%)	4～6	77 (22.9%)	128 (38.1%)	105 (31.3%)	20 (6.0%)	249 (74.1%)	87 (25.9%)
慶應義塾大学病院	拠点病院	東京	211	160 (75.8%)	17 (8.1%)	11 (5.2%)	15 (7.1%)	1～3	62 (29.4%)	71 (33.6%)	66 (31.3%)	10 (4.7%)	152 (72.0%)	59 (28.0%)
東京慈恵会医科大学附属病院	拠点病院	東京	231	182 (78.8%)	25 (10.8%)	1～3	14 (6.1%)	1～3	51 (22.1%)	91 (39.4%)	76 (32.9%)	12 (5.2%)	162 (70.1%)	69 (29.9%)
虎の門病院	拠点病院	東京	356	297 (83.4%)	22 (6.2%)	10 (2.8%)	17 (4.8%)	7～9	87 (24.4%)	135 (37.9%)	107 (30.1%)	19 (5.3%)	266 (74.7%)	90 (25.3%)
三井記念病院	県推薦病院	東京	118	76 (64.4%)	21 (17.8%)	4～6	12 (10.2%)	0	34 (28.8%)	29 (24.6%)	45 (38.1%)	10 (8.5%)	79 (66.9%)	39 (33.1%)

上記検索施設所在の都道府県全体の登録数

都道府県	総数 (病期不明を含む)	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	年齢					性別	
						0～39歳	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	男性	女性
東京	9,469	6,130 (64.7%)	998 (10.5%)	611 (6.5%)	1,217 (12.9%)	92 (1.0%)	2,011 (21.2%)	3,377 (35.7%)	3,191 (33.7%)	798 (8.4%)	6,695 (70.7%)	2,774 (29.3%)

院内がん登録データ提出施設全体での登録数

全施設合計値	89,249	55,775 (62.5%)	9,785 (11.0%)	6,723 (7.5%)	12,778 (14.3%)	610 (0.7%)	16,902 (18.9%)	32,500 (36.4%)	30,642 (34.3%)	8,595 (9.6%)	63,283 (70.9%)	25,966 (29.1%)
--------	--------	-------------------	------------------	-----------------	-------------------	---------------	-------------------	-------------------	-------------------	-----------------	-------------------	-------------------

院内がん登録 全国集計 結果検索システム（0年集計） 施設別登録数検索

▶ 都道府県単位集計へ

乳

■操作方法は[こちら](#)をご参照ください。

施設種別	全データ提出施設	診断年	2016 ～ 2016	がん	乳房
臨床病期	全病期	集計表示対象	年齢階級,性別	集計単位	施設別

集計結果 ▼CSV出力

登録件数 1 - 11 / 11 ※ ■ : 集計年度に一部欠けがある施設 ! : 複数の施設種別を持つ施設

施設	施設種別	都道府県	総数 (病期不明を含む)	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	年齢					性別	
									0～39歳	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	男性	女性
国立がん研究センター中央病院	拠点病院	東京	700	149 (21.3%)	285 (40.7%)	186 (26.6%)	42 (6.0%)	22 (3.1%)	59 (8.4%)	466 (66.6%)	132 (18.9%)	39 (5.6%)	4～6	1～3	697 (99.6%)
東京都立駒込病院	拠点病院	東京	467	83 (17.8%)	176 (37.7%)	152 (32.5%)	23 (4.9%)	26 (5.6%)	26 (5.6%)	271 (58.0%)	103 (22.1%)	53 (11.3%)	14 (3.0%)	1～3	465 (99.6%)
公益がん研究会有明病院	拠点病院	東京	1,201	261 (21.7%)	578 (48.1%)	289 (24.1%)	46 (3.8%)	20 (1.7%)	97 (8.1%)	828 (68.9%)	211 (17.6%)	59 (4.9%)	4～6	1～3	1,198 (99.8%)
東京大学医学部附属病院	拠点病院	東京	208	33 (15.9%)	104 (50.0%)	46 (22.1%)	13 (6.3%)	4～6	16 (7.7%)	128 (61.5%)	40 (19.2%)	20 (9.6%)	4～6	0	208 (100.0%)
日本医科大学付属病院	拠点病院	東京	213	40 (18.8%)	89 (41.8%)	53 (24.9%)	23 (10.8%)	7～9	7～9	128 (60.1%)	44 (20.7%)	30 (14.1%)	1～3	0	213 (100.0%)
聖路加国際病院	拠点病院	東京	934	245 (26.2%)	396 (42.4%)	234 (25.1%)	26 (2.8%)	27 (2.9%)	128 (13.7%)	655 (70.1%)	110 (11.8%)	35 (3.7%)	4～6	1～3	933 (99.9%)
順天堂大学医学部附属順天堂医院	拠点病院	東京	428	95 (22.2%)	144 (33.6%)	145 (33.9%)	24 (5.6%)	18 (4.2%)	26 (6.1%)	262 (61.2%)	94 (22.0%)	35 (8.2%)	11 (2.6%)	0	428 (100.0%)
慶應義塾大学病院	拠点病院	東京	233	60 (25.8%)	110 (47.2%)	45 (19.3%)	7～9	7～9	17 (7.3%)	135 (57.9%)	50 (21.5%)	23 (9.9%)	7～9	0	233 (100.0%)
東京慈恵会医科大学附属病院	拠点病院	東京	204	35 (17.2%)	84 (41.2%)	56 (27.5%)	17 (8.3%)	4～6	16 (7.8%)	121 (59.3%)	36 (17.6%)	26 (12.7%)	4～6	0	204 (100.0%)
虎の門病院	拠点病院	東京	325	69 (21.2%)	141 (43.4%)	86 (26.5%)	10 (3.1%)	10 (3.1%)	32 (9.8%)	227 (69.8%)	40 (12.3%)	23 (7.1%)	1～3	1～3	324 (99.7%)
三井記念病院	県推薦病院	東京	207	50 (24.2%)	68 (32.9%)	65 (31.4%)	15 (7.2%)	4～6	12 (5.8%)	122 (58.9%)	43 (20.8%)	25 (12.1%)	4～6	1～3	206 (99.5%)

上記検索施設所在の都道府県全体の登録数

都道府県	総数 (病期不明を含む)	0期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	年齢					性別	
							0～39歳	40～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	男性	女性
東京	11,082	2,061 (18.6%)	4,635 (41.8%)	3,166 (28.6%)	629 (5.7%)	402 (3.6%)	775 (7.0%)	6,595 (59.5%)	2,215 (20.0%)	1,170 (10.6%)	327 (3.0%)	34 (0.3%)	11,048 (99.7%)

院内がん登録データ提出施設全体での登録数

全施設合計値	71,041	10,576 (14.9%)	29,579 (41.6%)	21,456 (30.2%)	4,857 (6.8%)	3,371 (4.7%)	3,685 (5.2%)	37,356 (52.6%)	17,212 (24.2%)	9,802 (13.8%)	2,986 (4.2%)	426 (0.6%)	70,615 (99.4%)
--------	--------	-------------------	-------------------	-------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-------------------	-------------------	------------------	-----------------	---------------	-------------------

がん医療における遺伝子検査 まず、知っておきたいこと

更新・確認日：2018年11月21日 [履歴]

●がんの医療では遺伝子情報に基づく個別化治療が始まっています。

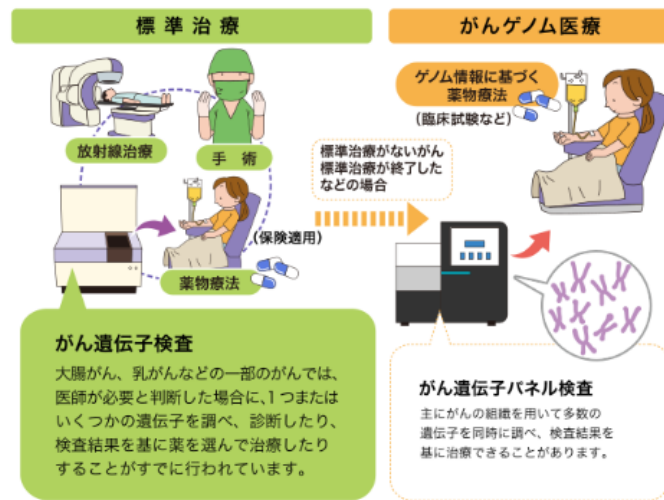
これまでのがん医療では、胃がん、乳がんといったがんの種類別に治療や薬が選ばれていました。近年では、がんの種類別のみではなく、遺伝子変異などのがんの特徴に合わせて、治療の効果を最大にし、副作用をできるだけ少なくすることなどの一人一人に適した治療を行うことができるようになってきました。

このような医療を「個別化治療」と呼びます。

●がん遺伝子検査は、一部のがんの治療では標準治療として行われています。

大腸がん、乳がんなど一部のがんでは、医師が必要と判断した場合にがん遺伝子検査を行い、1つまたはいくつかの遺伝子を調べ、診断したり、検査結果を基に薬を選んで治療したりすることがすでに行われています(図1)。

図1. 遺伝子情報に基づくがんの個別化治療



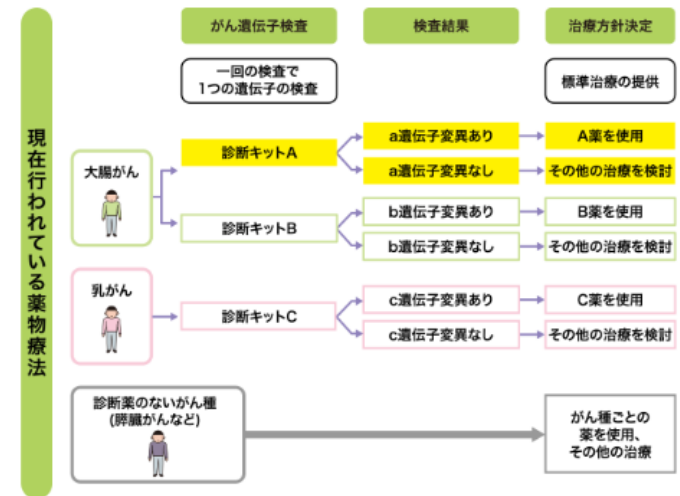
●がんに関連した遺伝子検査を受けたいときは、担当医にご相談ください。

がん遺伝子検査のうち、保険診療となっているものは、医師が必要と判断した場合に行っています。

その一方で、市販の遺伝子検査を希望する場合には、遺伝医学専門家(臨床遺伝専門医等)に相談することが望ましいとされています。

がんの診断
がんの治療方法
- 薬物療法(化学療法) - 放射線治療 - 造血幹細胞移植 - 免疫療法 - がんゲノム医療とがん医療における遺伝子検査 - がん医療における遺伝子検査 まず、知っておきたいこと - がん医療における遺伝子検査 もっと詳しく知りたい方へ - がんゲノム医療 まず、知っておきたいこと - がんゲノム医療 もっと詳しく知りたい方へ - 代替療法(健康食品やサプリメント)
治療を受けるとき注意したいこと
くすりの使い方と注意点
リハビリテーション
臨床試験について
がん情報サービスレファレンスリスト
クリニカルパス(乳がん 手術リハビリテーション、血液・リンパ)

図2. がん遺伝子検査(薬が効きそうかについての判断)の例



以下が、保険診療で受けられるがん遺伝子検査で調べる遺伝子です(表1)。調べる遺伝子によって、異なる薬を使います。

表1. 薬が効きそうかについての判断に用いられるがん遺伝子検査(2018年11月時点)

がんの種類	調べる遺伝子	調べる組織	主な薬剤 [※]
悪性黒色腫	BRAF 遺伝子	がんの組織	ダブラフェニブ、ベムラフェニブ
胃がん	HER2 遺伝子		トラスツズマブ
GIST(消化管間質腫瘍)	c-kit 遺伝子		イマチニブ
大腸がん	K-ras 遺伝子		ペバシズマブ、セツキシマブ、パニツムマブ
	RAS 遺伝子		セツキシマブ、パニツムマブ
乳がん	HER2 遺伝子		トラスツズマブ
肺がん	ALK 融合遺伝子		クリゾチニブ
	EGFR 遺伝子		ゲフィチニブ、エルロチニブ、アファチニブ
	ROS1 融合遺伝子		クリゾチニブ

※国内の診療ガイドラインに推奨の記載があるもの(標準治療を選択する際に用いるもの)

●関連情報

「GIST」

3) 副作用が出やすいかについての判断

「副作用が出やすいかについての判断」の検査では、薬を使う前に血液検査を行い、その人の体質によって重篤な副作用がでる可能性がないかを調べます。検査の結果によって、副作用が出にくい人ではその薬で治療を行います。副作用が出やすい人では、量を調節して治療を行うことがあります。

以下が、保険診療で受けられる検査です(表2)。

がんゲノム医療 まず、知っておきたいこと

更新・確認日:2018年11月21日 [履歴]

●ゲノムとは、遺伝子をはじめとした遺伝情報の全体を意味します。

ゲノムは体をつくるための、いわば設計図のようなもので、一人一人違ってします。

●がんゲノム医療は、遺伝子情報に基づくがんの個別化治療の1つです。

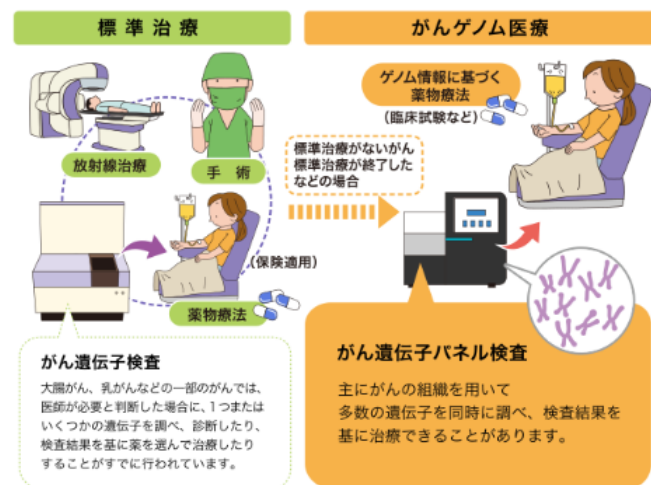
がんゲノム医療とは、主にがんの組織を用いて、多数の遺伝子を同時に調べ、遺伝子変異(※1)を明らかにすることにより、一人一人の体質や病状に合わせて治療などを行う医療です。

現在、実施するための体制づくりが進められています。

(※1)遺伝子変異:がん細胞の中の遺伝子がなんらかの原因で後天的に変化することや、生まれもった遺伝子の違い

●がんゲノム医療は、標準治療がないまたは終了しているなどの条件を満たす場合に行われます。

図1 遺伝子情報に基づくがんの個別化治療



一部のがんの治療では、すでに標準治療として、がんの組織などを用いて1つまたはいくつかの遺伝子を調べる「がん遺伝子検査」を行い、遺伝子に合う薬の選択がすでに行われています。

一方、「がんゲノム医療」として、多数の遺伝子を同時に調べる検査である「がん遺伝子パネル検査」が、標準治療がないまたは終了したなどの条件を満たす場合に行われるようになってきています(図1)。

●がん遺伝子パネル検査は、合う薬があるかどうかを調べる検査です。

がんの診断

がんの治療方法

■薬物療法(化学療法)

■放射線治療

■造血幹細胞移植

■免疫療法

■がんゲノム医療とがん医療における遺伝子検査

□がん医療における遺伝子検査 まず、知っておきたいこと

□がん医療における遺伝子検査 もっと詳しく知りたい方へ

□がんゲノム医療 まず、知っておきたいこと

□がんゲノム医療 もっと詳しく知りたい方へ

■代替療法(健康食品やサプリメント)

治療を受けるとき注意したいこと

くすりの使い方と注意点

リハビリテーション

臨床試験について

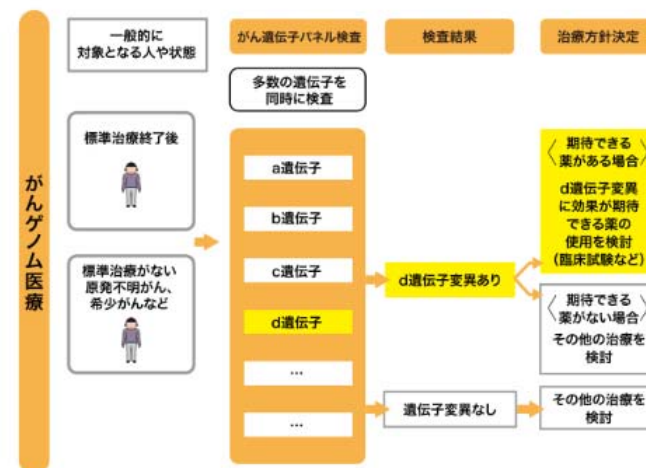
がん情報サービスレファレンスリスト

クリニカルパス(乳がん 手術リハビリテーション、血液・リンパ)

利用結果

このページの先頭へ

図2 がん遺伝子パネル検査(がんゲノム医療)



利用結果

生検 先進医療 臨床試験

関連情報

「国立がん研究センター中央病院におけるゲノム医療 がん関連遺伝子を網羅的に調べる遺伝子検査のご案内」

3)検査の対象となる人や状態

●がん遺伝子パネル検査は、誰でも受けられるわけではありません。

現在(2018年11月)、がん遺伝子パネル検査は誰でも受けられるわけではありません。一般的には、①標準治療がないなどのまれながん(希少がん)、②原発不明がん、③標準治療終了後で、次の新たな薬物療法を希望する場合に検討します。また、年齢や全身状態などの条件もあります。

また、がん遺伝子パネル検査は、研究・評価中の検査であり、標準治療の選択において調べる検査ではありません。まずは、安全性と有効性が確認されている標準治療を受けることが強く勧められます。

関連情報

「研究段階の医療(臨床試験、治験など)基礎知識」

4)検査結果に基づく治療

●がん遺伝子パネル検査を受けても必ず治療法が見つかるわけではありません。

がん遺伝子パネル検査の前には、あらかじめ以下についても知っておくことが大切です。

(1)がん遺伝子パネル検査で期待できること

全国がん登録による2016年罹患数

	0-4	5-9	10-14	15-19	計
2016(全国がん)	1005	546	593	971	3115
2014(地域がん)	856	485	585	795	2721

